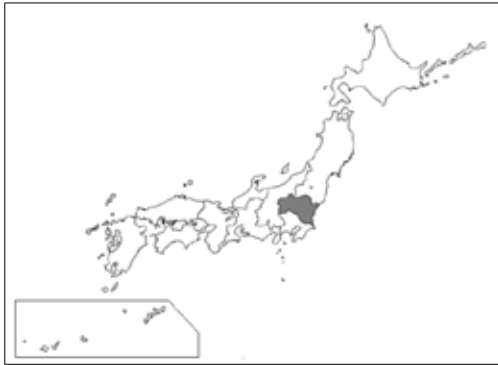


### (3) 北 関 東



北関東地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す( \_は上方に変更、 \_は下方に変更)

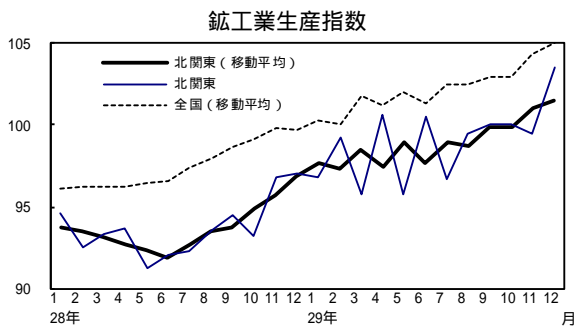
#### 前回調査からの主要変更点

	前回(平成29年11月)	今回(平成30年2月)	
景況判断	緩やかな回復基調	緩やかに回復	
鉱工業生産	持ち直しの動き	持ち直し	
個人消費	緩やかに持ち直し	持ち直し	

#### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

10 - 12 月期には、「汎・生産・業務用機械」、「電子デバ、電気・情報通信」、「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」及び「輸送機械」は、海外需要や堅調な国内需要を背景に増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

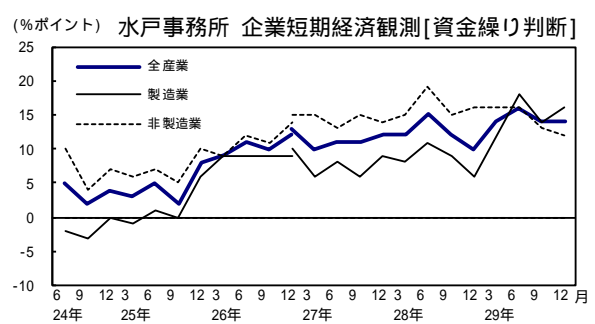
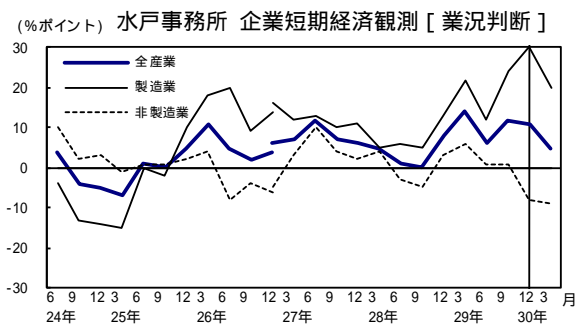
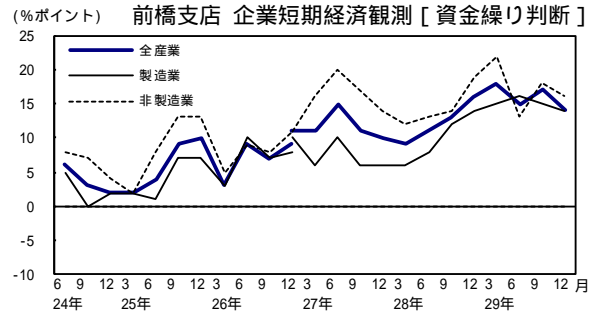
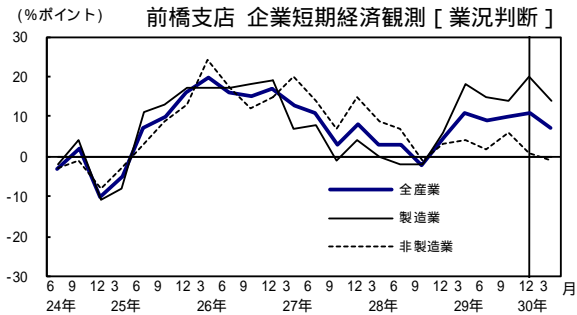
	付加価値 ウェイト	生産				
		7 - 9 月期	10 - 12 月期	10月	11月	12月
石油・石炭、化学、プラ製品	19.7	0.8	0.9	0.4	2.3	5.1
電子デバ、電気、情報通信	19.5	0.5	3.3	0.9	2.8	2.7
輸送機械	18.4	1.3	0.8	2.6	3.9	8.8
汎・生産・業務用機械	16.0	1.7	5.0	0.2	2.4	1.5
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	12.9	0.1	2.6	1.4	0.5	4.2
鉱工業	100.0	0.2	2.3	0.0	0.5	4.0

- (備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。  
2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。  
3. 北関東は内閣府にて算出。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 10 - 12 月期、12月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの。

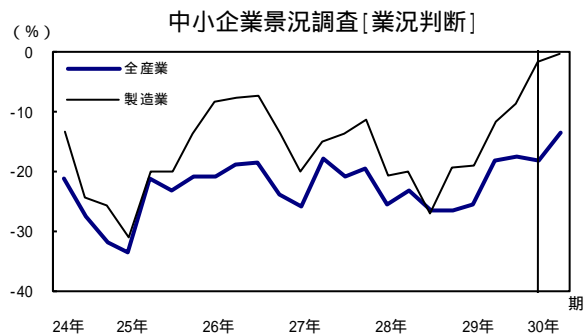
(2) 日銀短観における前橋支店管内の業況判断は「良い」超幅が横ばいとなっており、資金繰り判断は「楽である」超幅が縮小している。  
水戸事務所管内の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

### 企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。30年3月は予測。  
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。30年 期は見通し。

### 景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [企業動向関連 (現状)]

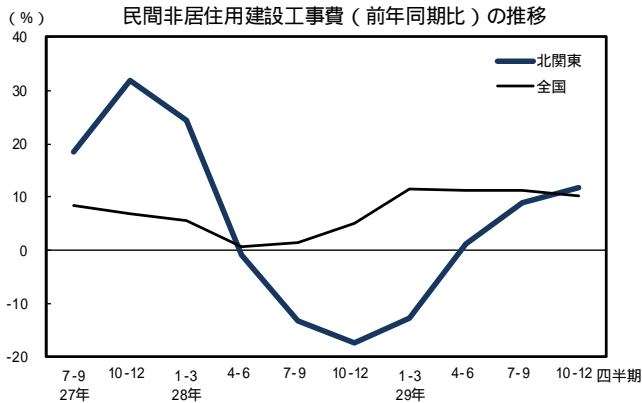
「主力製品の受注量が増加し、その他の製品についても凸凹はあるが、おおむね好調である(化学工業)」などの回答がみられた。

(3) 北関東

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は前年に比べて大幅に増加している。

企業短期経済観測調査 [ 設備投資(12月調査) ]

(前年度比、%)



	28年度実績	29年度値
全産業		
前橋支店	16.6	1.9 ( 1.5 )
水戸事務所	2.3	16.8 ( 2.3 )
製造業		
前橋支店	29.4	5.6 ( 3.0 )
水戸事務所	13.4	29.7 ( 2.6 )
非製造業		
前橋支店	15.7	12.3 ( 6.3 )
水戸事務所	8.4	0.5 ( 1.8 )

(備考)( )は前回(9月)調査比修正率。

(備考) 29年4-6月期以降は国土交通省「建築統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比1.1%増、11月は同0.5%増、12月は同0.7%増となった。

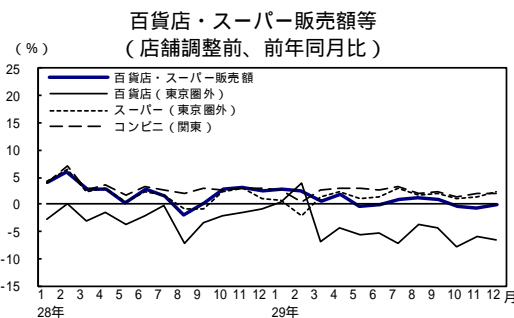
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は、家庭用品等の不調により、前年を下回った。11月は、飲食料品等が好調であったものの、身の回り品等の不調により、前年を下回った。12月は、身の回り品等の不調により、前年を下回った。

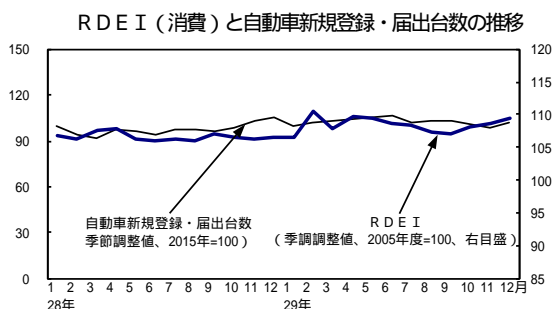
スーパーは、10-12月期は、家庭用品、衣料品等が不調であったものの、飲食料品及びその他商品が好調だったことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [ 家計動向関連 (現状) ]

「年末年始で客足が減り、契約しているサービスを解約する客も増えているようだ(通信会社)」など「やや悪くなっている」とする回答が増加した。



	29年10-12月	29年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	1.1	1.1	0.5	0.7
百貨店・スーパー(*2)	0.4	0.4	0.6	0.2
百貨店(*3)	6.6	7.7	5.8	6.4
スーパー(*3)	1.7	1.2	1.3	2.4
コンビニ(*3)	1.8	1.4	2.1	1.9
乗用車(*4)	1.6	3.1	3.9	3.4
(季節調整値)(*4)	2.2	2.7	2.1	3.5



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同(月)期比

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同(月)期比

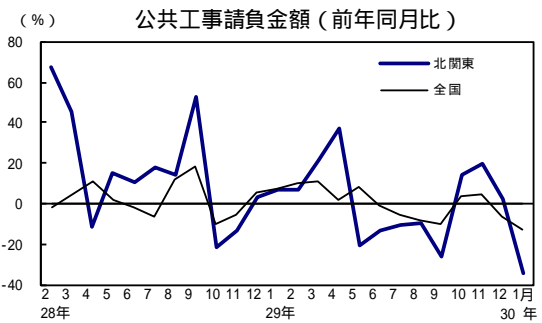
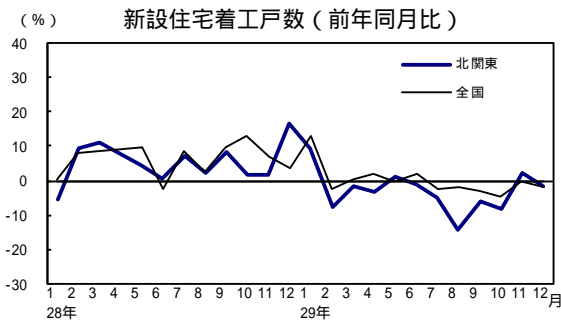
・百貨店、スーパーは、関東経済産業局の東京圏外(茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

・コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%)

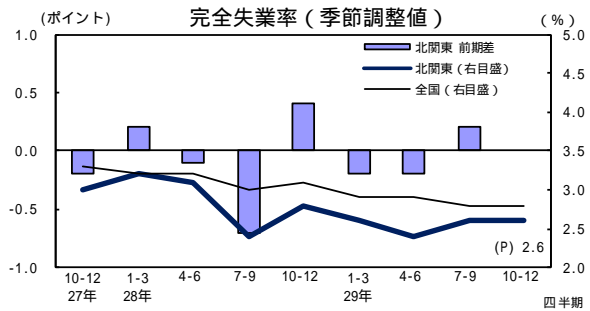
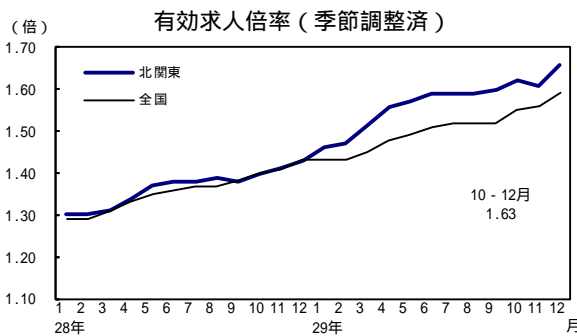
(2) 住宅建設は前年に比べて減少している。  
貸家が前年を下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を下回っている。



### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。  
有効求人倍率及び完全失業率  
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。  
2. 10-12月期の値は暫定値。

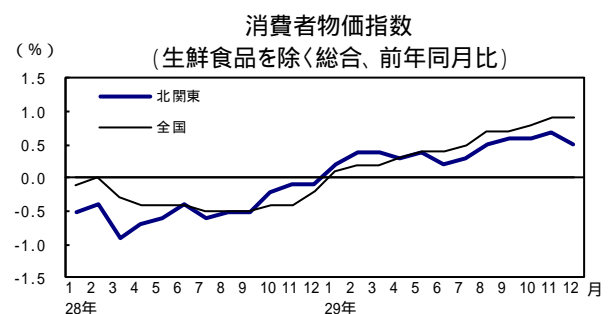
景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[雇用関連(現状)]  
「来所する求職者の減少傾向が止まらない。在職者の相談が多くなっている(職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数は大幅に減少、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅がおおむね横ばいとなっている。

#### 企業倒産

	(件、億円、%)				
	29年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	30年1月
倒産件数	90	83	76	70	31
(前年比)	8.2	10.8	1.3	26.3	6.1
負債総額	165	132	202	70	46
(前年比)	26.3	35.6	65.9	61.9	44.0



(備考) 北関東は内閣府にて算出。

(3) 北関東

景気ウォッチャー調査（1月調査結果）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

- ・年末年始の買物の反動なのか、今月は買い控えが生じたようで、来客数が減ってきている(コンビニ)

<先行き>

- ・春に向け状況は好転すると期待したい。また、4月からのデスティネーションキャンペーンにも期待が持てる(旅行代理店)

景気ウォッチャー調査（季節調整値）

